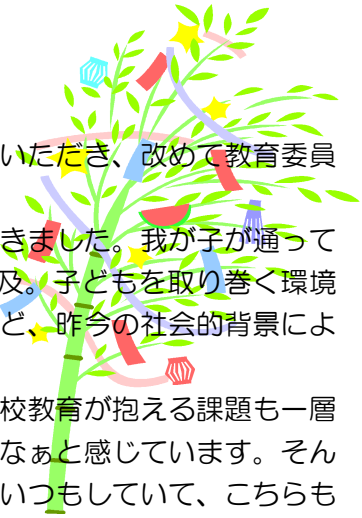
いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です ふたたび

No.２０６
２０２４（令和６）年７月９日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

教育委員リレーエッセイ

『　時代の変化　』

今金町教育委員　　水戸部　明子



教育委員に就任して約半年が経ちました。様々な行事に参加させていただき、改めて教育委員の役割が多岐にわたり、奥が深いということを実感しています。

先日、小学校・中学校への学校訪問があり、授業の様子を拝見してきました。我が子が通っていた時とは授業形態も変わり、タブレットをはじめとした ICT の普及。子どもを取り巻く環境も少子化、核家族化、デジタル化、グローバル化、価値観の多様化など、昨今の社会的背景によって大きく変化してきています。

また教職員については社会状況や子どもたちの変化などを背景に学校教育が抱える課題も一層複雑・多様化してきた中での働き方改革の推進。本当に大変な時代だなぁと感じています。そんな時代でも、今金の子どもたちは、元気いっぱい気持ちの良い挨拶をいつもしていて、こちらも笑顔になり、元気をもらっている瞬間です。

ニュースなどでは、子どもが巻き込まれる事故や事件が増えているように思います。これから夏本番、水の事故は後を絶ちませんが、私たちが普段生活する環境には様々な事故や事件の要因があること、危険性について話すことや、大人が子どもを危険から守れるよう万が一に備えることを心掛けたいです。





雑感

最近全くプレゼンテーションソフトウェアを使った文書を作っていない。以前の職では業務上、講話などもあって時々資料を作っていたのですが。そういえばパソコン上でのプレゼン文書。昔はアニメーションなどいっぱい使って、くるくるキラキラした物が多かったですが、最近会議などで見かけるものは静止画的な資料がベースで、落ち着いたなと感じることがあります。でも、よく考えると板書やフラッシュカードの基本がそうで、特に強調したい箇所、重要な所を目だ立たせるのが肝で。変化が多すぎると効果がなくなってしまい兼ねず、そこのところはいつの時代になっても変わらないのだろうな、と納得しているところです。

教科書や参考書、ノートに引くマーカーもそうで、時々、ほぼ全てじゃないかと感じるくらいラインが引かれたものを目にすることがありますが、結局それって、重要なところが分かってないっていう証拠になり兼ねず…。自分も気をつけているところでありますし、授業参観などでも子どもたちのテキストを覗くときに注視している点でもあります。

教育長のつぶやき

ニュースやマスコミで北海道で起きている事件が話題になって心を痛めている。被害に遭った方、加害者。若い人であればあるほど、ああ、この子たちを教えた、関わってきた教育関係者は現場でどれほど心を痛めているだろう、と切なくなってしまうのです。そう、誰一人不幸にしない。それしかないんだと、教育は。　大きなことは出来ないかも知れないけれど、せめて自分の関わった子、関わった人だけでも不幸にしない。そう考えて…。